

患者の皆様へ

2024年6月3日
医療法人社団三結会みつば脳神経クリニック

現在、当診療所では、「MRIを備えた診療所における、急性期脳梗塞の後向き研究」を行っております。今後の治療に役立てる事を目的に、この研究では急性期脳梗塞患者さんの診療情報などを利用させていただきます。診療情報などが、この研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記にご連絡下さい。

1. 研究課題名・概要

「MRIを備えた診療所における急性期脳梗塞の後向き研究」

2. 研究課題概要

急性期脳梗塞は、血栓溶解療法や血栓回収療法など目覚ましい効果のある治療が発展してきました。しかし、これらの治療は施設と人員の揃った大病院でないと出来ず、しかも治療可能な時間は発症から短時間であるため、これらの治療を受けられる患者さんは限られています。一方、すべての急性期脳梗塞患者さんを大病院で治療しようとする、施設や人員の限界を上回り、本来血栓溶解療法や血栓回収療法などを受けられる患者さんを、適切に治療が出来なくなる恐れが出てきます。

急性期脳梗塞治療において、日本では当診療所のようにMRIを備えた診療所が多く、安全に一定の役割を果たせる可能性があります。そこで、これまで当診療所へ受診され、MRIで診断した急性期脳梗塞の患者さんのデータを蓄積し、臨床的知見から検証する研究です。

3. 研究医療機関

医療法人社団三結会 みつば脳神経クリニック

研究代表医師:大木 剛

4. 本研究で利用する患者さん情報

この研究においては、2011年12月から2021年11月まで当診療所でMRIにて診断した急性期脳梗塞の患者さんを対象として、診療録に記載されている患者さんのデータ(病歴、治療歴、内服用量、採血結果、画像検査、治療経過)を用います。

5. 本研究において患者さん情報を利用する目的および方法

前述のように、本研究で収集したデータを用いて、MRI で診断した急性期脳梗塞の患者さんにおいて、経過や治療の内容を臨床的知見から解析を行います。データは当診療所の診療録に記載または保存されている患者さんのデータを、研究代表医師が遡り照会し、データ登録シートに記載のうえ、収集いたします。

本研究で得られた個人情報は、外部に漏れる事のないよう厳重に管理いたします。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないことといたします。データは診療録から収集した後、氏名など個人が特定されない形で匿名化いたします。

6. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合のご相談について
ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をいたしますので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

本件のお問い合わせ先：

医療法人社団三結会みつば脳神経クリニック

研究代表医師：大木 剛

043(483)3289(代表)